

忍者のまちを 水害から守る“上野遊水地”

三重

—ダムならぬ遊水地って何?—

伊賀流忍者ゆかりの地である三重県伊賀市に上野遊水地があります。上野遊水地は、大洪水時に洪水の一部を貯留させ、流量調節機能の確保と伊賀市周辺の治水対策を行います。遊水地事業は岩倉峡下流の木津川や淀川のピーク流量を増加させずに伊賀市市街地における洪水の氾濫の防止を行うものです。

- ・上野遊水地は越流堤と田園風景のコラボレーション。排水門や陸閘は間近で見ると大きく構造物のスケールに実感が持てます。
- ・木興遊水地近くの鍵屋ノ辻史跡公園には、過去の水害の浸水深を標示した看板を設置しており、当時の浸水深を体感できます。
- ・また、遊水地整備による浸水被害軽減効果もあり、工場や商業施設が多数進出し、遊水地周辺の世帯数が増加しました。
- ・上野遊水地集中管理センター資料室は、遊水地計画や運用管理について学べる施設で、これまで1万人を越える方が見学に訪れています。

上野遊水地集中管理センター資料室
入館無料、開館日時:平日10時~16時(要予約)

資料室見学のご予約やお問合せは次のところまで。
(お申込み・お問合せ先:木津川上流河川事務所管理課)

TEL0595-63-1611(代)

詳細は、ホームページでも確認できます。

<http://www.kkr.mlit.go.jp/kizujiyo/suisuikan/>

上野遊水地集中管理センター資料室

新居越流堤と小田越流堤

木興排水門

小田陸閘

上野盆地

岩倉峡
(狭窄部)

浸水記録標示板

最大浸水深
2.52m



上野盆地のジオラマや空から見た上野盆地なども見学できます。



越流堤は本川堤の一部を低くし、洪水が一定の水位以上になった場合に、遊水地内に流入させる施設です。



排水門は遊水地に貯まった水を川へ排水する施設です。



陸閘は堤防の役割を果たす開閉可能な門扉です。



インフラ
ツーリズム